

400 人を超える市民が参加

ユニスポ大村 小・中学生リレーオリエンテーリング大会／ミニ・ロゲイニング大会

全日本リレー大会が開催された 24 日、ユニスポ大村の市民参加イベントとして小・中学生リレーオリエンテーリング大会とミニ・ロゲイニング大会が実施され、両イベント合わせておよそ 400 人が参加した。

2012 年 11 月 24 日 長崎県大村市
ユニバーサルスポーツフェスタ in 大村

地元市民向けイベントとして

大村市制施行 70 周年記念事業である「ユニバーサルスポーツフェスタ in 大村」を行うにあたり、オリエンテーリングの国内トップ選手らが競い合う全日本大会 3 大会とともに、地元の一般市民にもこのスポーツに親しみ、魅力を感じてもらえる機会を提供しようと企画されたのが、この小中学生を対象にしたリレー大会と全年齢を対象にしたミニ・ロゲイニング大会の 2 イベントである。

午前は「子どもたちが主役」の小・中学生リレー大会

午前に行われたリレー大会は、当初は「小学校対抗リレー大会」という構想であったが、市内の小学校を通じての参加者募集が難しい事などから計画を若干変更し、大会名も「小・中学生リレーオリエンテーリング大会」に変え、主に大村市内のサッカーや野球等のスポーツ少年団や児童クラブへ子ども達の参加の呼びかけを行った。

またスタッフの予行演習も兼ねた体験会を今年の 1 月から 10 月にかけてのべ 5 回、市内の小学校や公園を会場に行った。体験会には 1 回あたり約 30 名が参加し、多い回では約 120 名の参加があったとのことである。

競技は 1 チーム 3 人によるポイント形式・クレヨンチェックで行われ、64 チームの事前エントリーに対し大会当日は 59 チーム 177 人が参加した。またチェンジオーバーではコントロールカードとコンパスをタスキ代わりに受け渡す方法が採られ、参加した子ども達は地図読みもそこそことにかく走り



小・中学生リレーのスタート。親や仲間と同一行動をとらなければならないグループ参加の「フィットネス O」では絶対に見られない、リレー大会ならではの光景である。

回り、特に小さな子は友達と一緒にまわったりレイン内の監視スタッフの方と相談したりしながらコントロールを廻っていた。



ダッシュでフィニッシュを駆け抜けるリレーに参加した小学生

実行委員会の志田章博さんは「今回のイベントは長崎県の補助金を受けての開催で、来年度も大村で大会を開催することになっている。引き続き学校や公園でのリレー O の体験会を開催して競技者を増やしていきたい」と話し、大村でのオリエンテーリングの普及と定着に意欲を示した。



山西哲郎 JOA 会長（左）も視察に訪れた。右は対応する仲尾勝利総括責任者

午後は「家族で、仲間で」ミニ・ロゲイニング大会

午後からは「地図と遊ぼう 歴史とロマンのおおむら」という副題を冠したミニ・ロゲイニング大会が行われ、こちらには大村市内と近隣の市や町から家族など 200 人を超える参加者が集まった。

大会プログラムによれば「ふるさと再発見・歴史とロマンの大村を歩く」ことを狙いとして、大村市内に点在する歴史文化の名所史跡をめぐるという内容。制限時間は 2 時間で、チェックポイントは市内の神社、屋敷跡などの 15 ヶ所に設けられた。またチェックポイントに関する詳しい解説や観光ガイドブックも配布され、参加者はそれらを片手に大村市内の小さな旅を楽しんだ。



スタートし、歩いてチェックポイントに向かう参加者

＜記者の視点＞オリエンテーリングの魅力子ども達に伝えた好企画

一般市民向けのオリエンテーリングイベントと言えば「フィットネスO」の名の下にグループで廻らせる方法が依然として各地で広く行われているが、その方法が子ども達にオリエンテーリングの魅力を伝え、そして普及に貢献しているかと問われれば疑問符を付けざるを得ないだろう。

今回のオリエンテーリングは「子ども達に走ってもらいたい」という実行

委員会のメンバーの思いから、小中学生に狙いを絞ったリレー方式が市に提案され、採用された。また家族などのグループ参加が可能なイベントは「ミニ・ロゲイニング」という名称にしてオリエンテーリングとはスケジュールも区別したことで、オリエンテーリングとロゲイニングの違い、すなわちオリエンテーリングは1人で走ってタイムを競うスポーツであり、ロゲイニングはチームで走ったり歩いたりしながら得点を競うスポーツである... と言うことを参加した市民に周知させ、それぞれのスポーツの魅力を伝えることに成功したのではないだろうか。

さらに「頑張っている子どもを応援したい」、あるいは「家族で楽しみたい」という2つの保護者側の需要に応えることができたという点でも、従来の方法とは一線を画した好企画であったと大いに評価したい。長崎での今後の取り組みが、これまでと違った結果を生み出すことを期待したい。



最終コントロールに駆け寄る参加者の小学生

(ここまでの記事はオリエンテーリングニュースサイト「Orienteering News in Japan」に掲載したものを、見出しを加え、写真説明を一部書き換えてそのまま転載しました)

0 マガジンメンバー離脱について(あいさつ)

昨年の10月号まで本誌のメンバーとして目次に名を加えていただいておりましたが、マガジンの方に手が回らなくなってしまい、同年12月号よりメンバーを離脱いたしました。2007年2月号のメンバー入りから5年と8か月の間、マガジンに携わらせていただきました。

当初は「トレイル0担当」という意識で関係イベントの記事を作成していましたが、のちにスキー0とMTBOも始めるようになり、また小山太郎さんや田中博さんにトレイル0のマガジン関係は(いつの間にか)シフトしていただけたことから、特に2010年からはMTBOの記事を書く機会が増えてまいりました。それまで実態が不明(?)であった同種目に取り組む選手の活躍を読者の皆様にお伝えすることが出来ていたとするならば、日本に2人しかいない4種目オリエンティアの1人としても幸いに思う次第です。

今後も「これはマガジンに載せてもらわなくては」と思うことがあれば投稿しますので、その際はよろしくお願いたします。

(藤島由宇)



小・中学生リレー大会の地図。A4用紙に縮尺が1:2,000なのでそんなに広い公園ではないが、林や城郭のエリアなど「ネタ」は豊富で、子どもたちに安全にオリエンテーリングを楽しんでもらうにはうってつけのトレインであった。

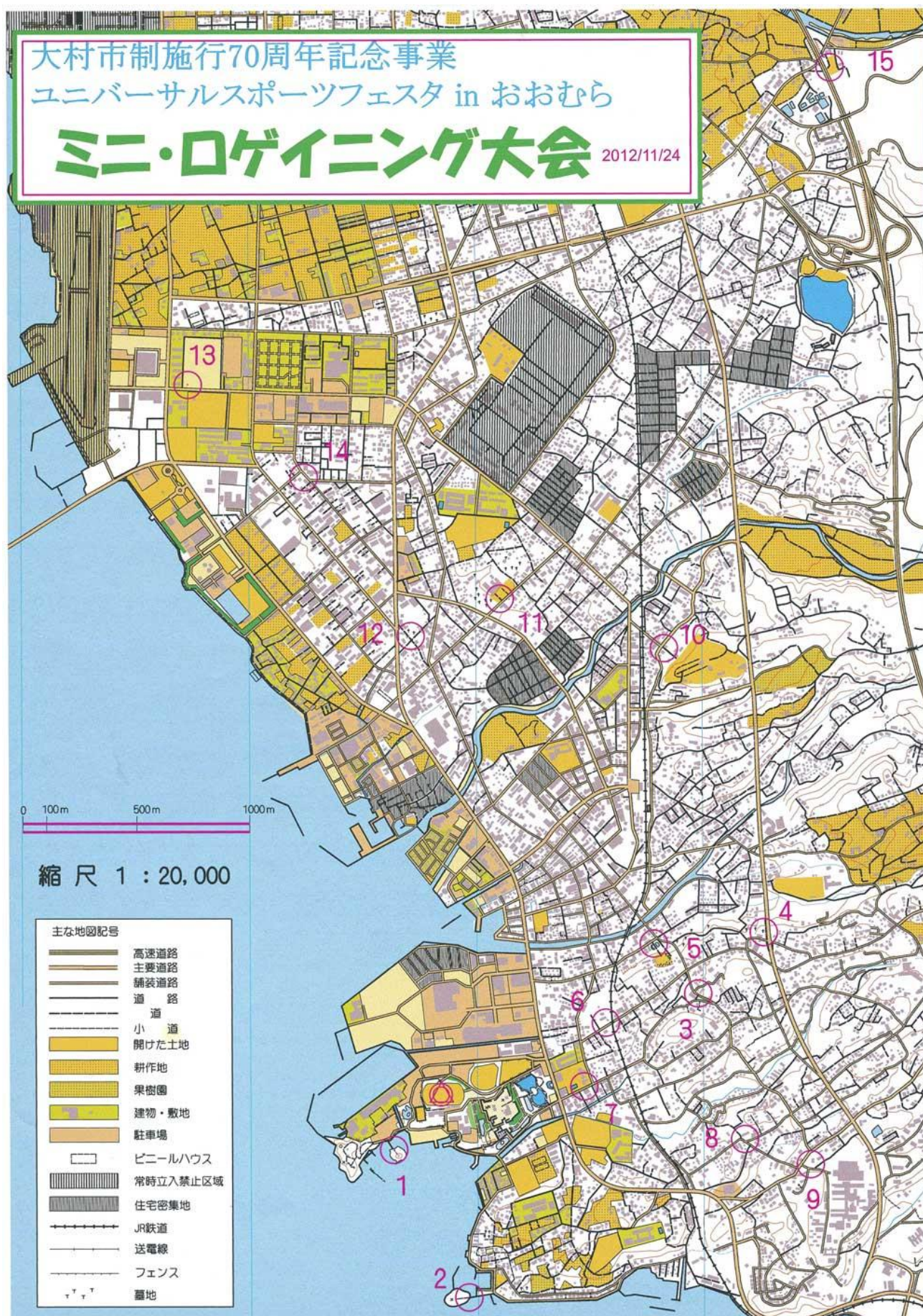
地図と遊ぶ 歴史とロマンの大村 ミニ・ロゲイニング大会 カード	① 龍神社 10点	② 寺島 70点	③ 旧楠本正隆 屋敷 30点
	④ 松林飯山の 墓 50点	⑤ 旧円融寺 庭園 20点	⑥ 浅田家老 屋敷跡 25点
	⑦ 五穀御成門 (鬼門) 15点	⑧ 長岡半太郎 屋敷跡 35点	⑨ 長与専斎 の旧宅 40点
	⑩ 富松神社 25点	⑪ 本経寺 60点	⑫ 妻子 別れの石 40点
	⑬ 防空壕跡 45点	⑭ 放虎原殉教地 35点	⑮ 大村純忠 史跡公園 95点
			得点合計 + 分ペナルティ 総合得点

ミニ・ロゲイニングのチェックカード。一見するとフォトログの撮影見本のようだが、各チェックポイントには係員が待機しており、このカードにスタンプを押してもらう(7番には押印済)。

大村市制施行70周年記念事業
ユニバーサルスポーツフェスタ in おおむら

ミニ・ロゲイニング大会

2012/11/24



ミニ・ロゲイニング大会の地図（志田章博さん作図）。建物を灰色にして道を見やすくしている。